

# 生駒市 一般廃棄物処理基本計画 市民ワークショップ 開催結果

生駒市のごみ減量や資源循環を進めるため、市民・事業者・行政の協働で進める取り組みを市民とともに考え、参加者の5R実践につなげることを目的に、また、検討の中で関心を頂く市民が担い手としての活動に興味・関心を持ってもらうことを期待し市民ワークショップを開催しました。

## 1 開催概要

|            |  |
|------------|--|
| ワークショップ名   | 生駒市のごみ みんなで考えるワークショップ  |
| 開催日        | 第1回:8月31日(土) 午前9時 15 分～12 時 15 分<br>第2回:9月 6日(土) 午前9時 30 分～12 時 00 分   |
| 会場         | 生駒市役所(大会議室)  |
| 対象・参加人数    | 市民参加者 17 名   |
| ワークショップの内容 | <p>●ワークショップ 1 日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市 地域活力創生部の取組について</li> <li>・市のごみ減量・資源化の状況説明</li> <li>・市内の取り組み実践者からの取り組み事例紹介<br/>(ひかりが丘自治会 藤堂 宏子 氏、NPO 法人関西ワンディッシュエイド協会 樽井 雅美 氏)</li> <li>・生駒市のごみ減量や資源循環を進めるうえでの日常生活の中での課題と生駒市のよいところを探すブレインストーミング</li> </ul> <p>●ワークショップ 2 日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「アイデアを形にする方法」(CODE for IKOMA 佐藤 拓也 氏)</li> <li>・市民、事業者、行政が協働した新たな取り組みを企画</li> </ul> |



ひかりが丘自治会 藤堂 宏子 氏、



NPO 法人関西ワンディッシュエイド協会 樽井 雅美 氏



CODE for IKOMA 佐藤 拓也 氏

生駒市内で活動する3名の講師の方々から取り組み事例の紹介や、課題をどう活動に結び付けていくか等、実践的な内容をお話いただきました。

## 2 結果概要

### (1)生駒市の課題・よいところ(ワークショップ 1 日目の成果)

ワークショップ 1 日目にて、生駒市のごみ減量や資源循環を進めるうえでの課題、生駒市のよいところとして、次の意見が出されました。特に課題については、「分別が難しい」、「ごみ出しルールが守られていない」、「集積所が遠い」、「終活の仕方や大量にごみを捨てる方法がわからない」といった意見が出されました。

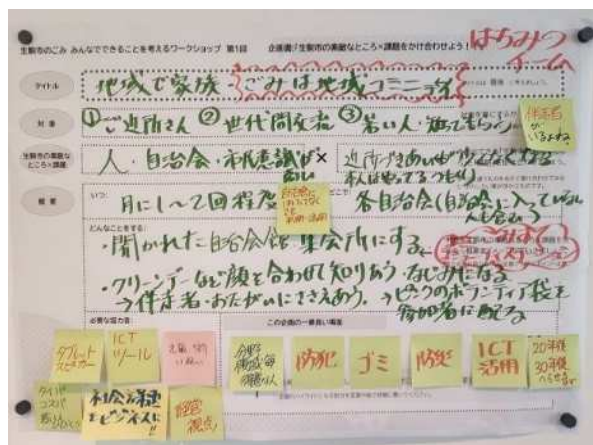
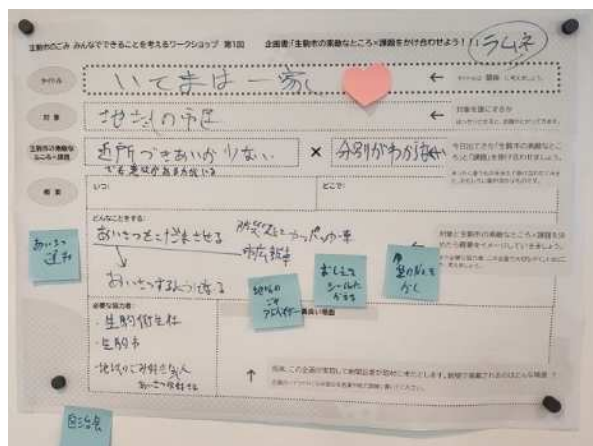
|   |   |
|---|---|
| <p>生駒市のごみ減量や資源循環を進めるうえでの課題<br/>(抜粋)</p> | <p>&lt;分別&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラスチックごみの分別が難しい</li> <li>・ プラスチックの時にプラスチック製品がよく混在している</li> <li>・ ごみの分別を冊子を見て仕分けるのが大変・高齢者には限界がある</li> <li>・ 分別が間違っている人がいる</li> </ul> <p>&lt;リユース&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使えそうなものが捨てられている</li> </ul> <p>&lt;ごみ出し&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみ出しのルールを守らない人がいる</li> <li>・ ごみ出し時間に持っていけない人がいる</li> <li>・ 集積所が遠い</li> <li>・ 車のある人、ない人の差がある</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終活の仕方や大量ごみを捨てる方法がわからない</li> <li>・ たばこのポイ捨てが減っていない</li> <li>・ 近所付き合いが少ない</li> </ul>   |
| <p>生駒市のよいところ<br/>(抜粋)</p>               | <p>&lt;ごみの取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちのえき(こみすて)がよい</li> <li>・ ピンクボランティア袋がよい</li> <li>・ ごみ拾いをライフワークとしてくれている方がいる</li> </ul> <p>&lt;まちづくりの取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世代間交流、自治体で文化交流</li> <li>・ 地域でイベントがある</li> <li>・ 学校がステキ、教育熱心</li> <li>・ 福祉にも頑張っている</li> </ul> <p>&lt;人&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近所づきあいがある</li> <li>・ 市民の意識が高い</li> <li>・ 防災士さん地域で活躍</li> <li>・ 人材豊か</li> </ul> <p>&lt;生駒市の立地&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都、大阪への交通が便利</li> <li>・ 交通の便がよい</li> </ul> <p>&lt;市内の素敵な場所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宝山寺の参道、景色やお店</li> <li>・ ケーブルカー</li> <li>・ Akai ito (俵口町にあるカフェ)</li> <li>・ オープンガーデン</li> </ul> <p>&lt;自然が豊か&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生駒山や自然</li> <li>・ 緑が多い</li> <li>・ 自然が豊か</li> <li>・ ウグイスの美しい声</li> <li>・ まちなかの緑</li> <li>・ 生駒山からの景色がきれい</li> <li>・ 矢田丘陵や生駒山</li> <li>・ 春～夏にかけてウグイスの鳴き声が聞こえるので心がなごむ</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治安がいい</li> <li>・ 大きな災害がない</li> </ul> |

## (2)市民、事業者、行政が協働した新たな取り組み(ワークショップ2日目の成果)

ワークショップ2日目には、1日目で出しあった「生駒市のごみ減量や資源循環を進めるうえでの課題」と「生駒市のよいところ」を掛け合わせて、新たな取り組みを企画しました。

企画された新たな取り組みは、いずれも「コミュニティを軸に人と人との関わりを強めながらごみ減量や資源循環に取り組む内容」でした。

| 取り組みタイトル                     | 概要   |
|------------------------------|--|
| いこまは家族                       | 防災無線やパッカー車、市広報車等を用いて市内に挨拶をこだまさせ、自然と挨拶を行う雰囲気や醸成し、コミュニティでの人と人との関わりを強めることで、ごみの分別などを教えあう運動につなげる。                       |
| スマホアプリ<br>ごみっと戦士<br>”たけまるくん” | ITに強い人、ごみに関する知識が多い人が参加して、分別を教えあったり、地域清掃活動情報や清掃工場の見学会などのイベント情報を提供するアプリを開発する。アプリを通して人と人との関わりが増え、コミュニティの力を強める取り組みとする。 |
| 地域で家族-<br>ごみは地域コミュニティ        | 集会所などで月に数回集まり、資源回収やモノの交換会、地域清掃活動などを楽しみながら行う。地域に開かれた場づくりによりお互いが支えあうコミュニティづくりにつなげる取り組みとする。                           |



## 3 参加者の感想(参加者アンケートより抜粋)

- ・ここから「形」になることを楽しみにしています。
- ・様々な意見が出て楽しかった。
- ・参加してみて色々なアイデアを持っておられる方がいることに感心しました。

以上